

おぢや

市議会だより



NO. 83

29. 1. 25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



少年野球DMクラブ

小千谷小学校と吉谷小学校の1年生から6年生までの児童を対象に、小千谷市スポーツ少年団に加入し活動しています。

野球を通じて健康な肉体と精神の育成をめざし、明るく、楽しく、元気よく練習に励んでいます。目標は全国大会出場。昨年は、市内大会ライオンズ杯で優勝しました。

常にみんなで声を出し合い、「負けじ魂」で頑張っています。

- 第4回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …… P3~4
- 一般質問 …… P4~7
- 行政視察報告 …… P8~9
- 議会日誌 …… P10
- 雪あかり、編集後記 …… P10

—主な掲載内容—

新年あけましておめでとうございます



議長 久保田久栄

市民の皆様におかれましては、健やかなお正月を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

さて、早くも現体制になってから1年8か月が経過し、昨年は「議会改革検討委員会」を組織し、5月頃をめぐりに検討を進めております。また、茶郷川の河川改修については、第4回定例会（12月議会）において「一級河川茶郷川の治水対策の早期実現を求める決議」を全会一致で可決し、議員一同、その責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いで活動しております。

小千谷市の財政状況も依然として厳しい状況であり、人口減少問題、少子高齢化、医療福祉、防災等の課題が山積みしております。

その中において、平成28年度

から第五次小千谷市総合計画がスタートし、平成27年度に策定した小千谷市総合戦略と併せ、人口減少対策や交流人口増大に重点を置き推進しております。

昨年7月には、小千谷市とJR東日本が整備してきた市民の家・小千谷信濃川水力発電館「おぢゃくる」がオープンし、すでに4万人を超える入館者を数えております。また、11月には、「一般国道117号千谷バイパス」が開通し、交通の円滑化により、市内外との交流がさらに進み、観光施設などの活用と併せ、地域経済の活性化に期待が高まっております。

今年、4月に厚生連小千谷総合病院が開院予定であります。地域における質の高い医療・保健・福祉・介護等のサービスが提供されることを心待ちにしております。

小千谷市のさらなる発展を目指し、最善の努力をしまいたいと存じます。皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

第4回定例会 議決結果（12月1日から12月21日まで開催）

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果
条 例	議案第81号 農業委員会等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	全会一致	原案可決
	議案第82号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	賛成多数	〃
	議案第83号 小千谷市長、副市長及び教育長の給与額並びにその支給に関する条例の一部改正	〃	〃
	議案第84号 小千谷市職員の給与に関する条例の一部改正	全会一致	〃
	議案第85号 小千谷市職員の退職手当に関する条例及び小千谷市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	〃	〃
	議案第86号 小千谷市税条例の一部改正	〃	〃
	議案第87号 小千谷市国民健康保険税条例の一部改正	〃	〃
	議案第88号 小千谷市介護保険条例の一部改正	〃	〃
	議案第89号 小千谷市営住宅条例の一部改正	〃	〃
	議案第90号 小千谷市公営企業の設置等に関する条例の一部改正	〃	〃
	議案第91号 小千谷市ガス供給条例の一部改正	〃	〃
	議案第92号 小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部改正	〃	〃
	議案第106号 小千谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	〃	〃
	議案第107号 小千谷市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	〃	〃
予 算	議案第93号 平成28年度小千谷市一般会計補正予算（第3号）	〃	〃
	議案第94号 平成28年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	〃	〃
	議案第95号 平成28年度小千谷市介護保険特別会計補正予算（第2号）	〃	〃
	議案第96号 平成28年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	〃	〃
	議案第97号 平成28年度小千谷市ガス事業会計補正予算（第1号）	〃	〃
	議案第98号 平成28年度小千谷市水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃
	議案第99号 平成28年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃
そ の 他	議案第100号 平成28年度小千谷市下水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃
	議案第101号 財産の処分〔元高梨消防器具置場〕	〃	〃
	議案第102号 小千谷市の公の施設（真人ふれあい交流館）の指定管理者の指定	〃	〃
	議案第103号 新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更	〃	〃
	議案第104号 人権擁護委員候補者の推薦〔新保隆氏〕	〃	同意
議案第105号 人権擁護委員候補者の推薦〔木村民子氏〕	〃	〃	
発 議	発議案第8号 一級河川茶郷川の治水対策の早期実現を求める決議	〃	原案可決

議員賛否の状況（採決において賛否が分かれたもの）

議案番号等	議決結果	賛成	反対	森本恵理子	住安 康一	駒井 和彦	大矢 弘光	佐藤 栄作	上村 行雄	内山 博志	佐藤 隆一	長谷川有理	阿部 正行	久保田陽一	山賀 一雄	田中 淳	本田 剛	久保田久栄	風間 順一
議案第82号	原案可決	13	2	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	原案可決	13	2	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、×は反対、議長（久保田久栄）は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案15件のうち14件は総務文教委員会単独で、1件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案とおり可決すべきものと決しました。

○議案第82号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第83号 小千谷市長、副市長及び教育長の給与額並びにその支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

以上の2議案は、それぞれ期末手当の支給率を引き上げるものです。

○議案第84号 小千谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、人事院勧告に伴う職員給与等の改定及び法律の改正等に伴う字句の整理をするものです。

○議案第85号 小千谷市職員の退職手当に関する条例及び小千谷市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第86号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、雇用保険法の改正に伴い関係する2条例をまとめて改正するものです。

○議案第87号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方税法の一部改正、外国居住者等所得相互免除法の改正に伴う改正及び総務省通知に伴う減免申請期限の変更等について改正するものです。

○議案第88号 小千谷市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、ガス事業法の改正により供給区域の記載を改めるとともに、農業集落排水事業の鴻巣処理区域を公共下水道排水区域に接続することに伴い改正するものです。

○議案第89号 小千谷市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、ガス事業法の改正により、新たな事業形態に即した内容に改正するものです。

○議案第90号 小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、鴻野谷農業集落排水処理施設の鴻巣処理区を公共下水道排水区域に接続することに伴い、当該処理施設の項目を削

るものです。

○議案第91号 平成28年度小千谷市一般会計補正予算(第3号)について

本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4465万4千円を追加し総額198億2583万円とするものです。

○議案第92号 平成28年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)について

○議案第93号 平成28年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)について

○議案第94号 平成28年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について

○議案第95号 平成28年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)について

以上の4議案は、いずれも職員の給与改定及び人事異動等に伴う人件費を補正するものです。

○議案第96号 財産の処分について

○議案第97号 平成28年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)について

○議案第98号 平成28年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)について

○議案第99号 平成28年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について

○議案第100号 平成28年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)について

○議案第101号 財産の処分について

○議案第102号 小千谷市公共施設(真人ふれあい交流館)の指定管理者の指定について

○議案第103号 小千谷市公共施設(真人ふれあい交流館)の指定管理者の指定について

○議案第104号 小千谷市公共施設(真人ふれあい交流館)の指定管理者の指定について

○議案第105号 小千谷市公共施設(真人ふれあい交流館)の指定管理者の指定について

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案7件について、慎重に審査した結果、議案7件全てを原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第81号 農業委員会等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

○議案第82号 農業委員会等に関する法律の一部改正されたことに伴い、改正が必要となる2条例を一括して一部改正するものです。

○議案第83号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第84号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第85号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第86号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第87号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

た減免申請期限の取扱いに関する通知にならない、対象者の利便に配慮し減免申請期限を変更するとともに、文言の整理を行うものです。

○議案第89号 小千谷市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

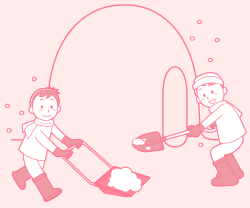
本案は、新たに片貝町団地住宅に市営駐車場が整備されたことに伴い、駐車場の名称及び位置を追加するとともに、駐車場の名称の文言整理を行うものです。

○議案第94号 平成28年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

○議案第95号 平成28年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)について

○議案第96号 平成28年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

以上の3議案は、いずれも職員の人件費等に伴う人件費の補正を主とするものです。



市政の内容を聞く 一般質問

病院跡地、聴覚障がいサポート他について

森本恵理子 議員

小千谷病院跡地利用について

質問 元町側から本町への往來の利便性確保のためにエレベーターの継続利用ができないか。

答弁 設置後、相当の期間が経過している。継続利用するには修繕費、管理費など多額の費用が見込まれるため利用はしない。



駐車場エレベーター

質問 錦鯉による地域活性化について
市の魚制定をきっかけに

錦鯉を通じた一貫性のある街づくりをしていくことで「小千谷＝錦鯉」のイメージを前面に押し出せる。更なる活性化のためにも錦鯉と他産業とのコラボなど、橋渡しをお願いしたい。

答弁 錦鯉生産者や民間事業者等と連携し、努めていく。

質問 市役所前鑑賞池が冬季閉鎖されている。市役所を訪れた人がいつでも鑑賞できるように庁舎内に水槽を設置できないか。

答弁 検討していく。

英会話教育について

質問 国際交流の機会の増加など、幼少期から英会話に親しむ重要性を感じる。文科省が中学卒業段階に英検3級程度以上の取得を50%以上に掲げているが、補助金などの予定はあるか。

教育長答弁 英検の補助金については考えていないが、今年度県内で初めて「英語重点モデル地区」の指定を受けた。今後も英語学力向上に取り組んでいく。

聴覚障がいサポートについて
質問 手話奉仕員の高齢化が問題になっている。養成には時間がかかるため講座を早急に開いていたideないか。

答弁 手話奉仕員登録者を確保、増強するため、活動意欲のある

方を新たに育成する必要があると考える。今後、なるべく早く手話奉仕員を養成する講座を継続して開催していきたい。

雪国小千谷で暮らし 続けられる除雪支援

長谷川有理 議員

質問 『小千谷市高齢者世帯等除雪援助事業』の要件厳格化により、昨冬比2/3非該当と支給件数が激減したことは、市民の不利益だ。許容できない。

答弁 この件で不公平は正が図れず、支援が必要な世帯も非該当となる事例が判明したため、別居の子どもが課税されているも支援困難な世帯は対象世帯とすることとした。対象となる市民や調査に協力いただいた民生児童委員に混乱を生じさせ、心配をかけたことをお詫びする。

質問 結果的に現実に困る世帯が続出したのは現状認識が甘かったからでは。その原因は。

答弁 どこに線を引くかで議論があった。該当・非該当の判断基準が明確でなく分かりやすさを目指したが線引きの基準が厳し過ぎた。内部のコミュニケーションも薄かった。反省する。



シヨンも薄かった。反省する。
質問 雪対策は家族負担の方向に舵を切るのではなく、丁寧に重層的に積み上げるべき。精神的な支援として相談窓口の徹底有償ボランティアとのマッチング、地域や集落が主体となって除雪を行う体制に交付する地域提案型交付金、要援護者宅除雪用小型除雪機貸与等、展開している市町村もあるが。

答弁 今、勉強している。地域における共助の仕組みを作っていくかなければいけない。内部で議論を進めていきたい。

質問 今回の件は、岩沢アチコタネーゼや市のSOS雪下ろし支援等、地域の除雪支援に冷や水を浴びせかねない。掘り手育成や除雪支援が継続する仕組みづくりを。まったなしの状況だ。

答弁 除雪の後継者の問題も含め、総合的に検討していく。

立地適正化計画案 について

佐藤 隆一 議員

質問 第五次総合計画で、「人・技・自然」暮らしで実感地域の宝が輝くまち おぢや」を目指すとしています。立地適正化計画の現状認識では、市街地への都市機能の集約で、小千谷市はすでにコンパクトな都市構造が形成されていると述べています。この計画をどのように理解したらいいのか伺います。

答弁 立地適正化計画（案）は、「人・技・自然」暮らしで実感地域の宝が輝くまち おぢや」を目指し、人口減少・少子高齢化の推移をできるだけ緩やかな曲線にするための効果的な施策を講じることを最も基本的な課題として策定しました。

質問 小千谷市は、J R信濃川発電所があるように、水力発電エネルギーが豊富です。小水力発電エネルギー資源の可能性や、環境うるおい基金を活用してのJ R東日本と提携するなどした小水力発電の事業化について検討する考えはありませんか。

答弁 小水力発電の持つ意義は

理解できますが、目的・立地条件・設置・維持管理費用など、行政として実施することについては慎重に検討すべきと考えています。

質問 「地域の宝」を持ち腐れとしないために、宝を発掘し、そこに住む住民の力を引き出すことが重要なのではないのでしょうか。

回答 小水力発電などについては、水利権等の法規制もあり、実現性は高くはないかもしれませんが、相談してみたいと考えております。



水資源は地域の宝

復興基金による支援 終了に伴う方向性

上村 行雄 議員

質問 復興支援員及びおぢやファンクラブの役割は。

答弁 復興支援員は震災で被災した地域を支え、活性化の後押しをすること。ファンクラブは

会員制による物産の販売と地域情報の発信と交流を実施し、経済の発展に寄与することです。

質問 双方の活動の評価は。

答弁 震災復興が加速化してきた点と販売や交流など概ね目的を果たしていると評価している。

質問 活動の継続は。継続の場合、運営はどかが担うのか。

答弁 支援員については一旦終了し、新たな仕組みづくりなどを検討していく。ファンクラブについては会員との絆を維持するため事業主体である小千谷市産業開発センターと協議を開始した。

質問 グリーンツーリズム推進事業の継続は。

答弁 今後も継続できるように検討していく。

質問 錦鯉復興におけるベトナムでの成果と戦略は。

答弁 ベトナムへの輸出が開始され、新たな販路が開拓された。錦鯉の里の展示方法で実施されたり検討された内容は。

答弁 新たな試みとしてふ化した稚魚の選別作業をお見せしたり、作業を体験していただいた。

質問 錦鯉の里における鯉ヘルペス対策は。

答弁 細心の注意を払いながら発生防止に努め、三重の対策が

取られている。

質問 錦鯉の里における売店コーナーの拡充と商品の充実化は。

答弁 現在記念品やお土産品を販売している。コーナーの拡充はスペースの問題があることから商品の見直しなど、指定管理者に一層の工夫をお願いしたいと考えている。

文化財保護と職員 採用について

阿部 正行 議員

文化財の保護について

質問 指定と登録の違いは。

教育長答弁 指定文化財は特に重要なものを法律等で規定したもので、登録文化財は指定になっていないものの中から市民に親しみ活用していただくために国が登録するものであり、現状変更も容易である。

質問 文化財の管理について。

教育長答弁 大規模修繕が必要な場合は、国県と合わせて市が補助を行い、市として国県とのパイプ役として所有者とともに文化財保存に努めたい。

質問 国登録の割烹の本館等は。

教育長答弁 歴史的に価値があ

るが、保存については個人財産であり推移を見守りたい。

質問 自然災害からの保護は。

教育長答弁 中越大地震時には、魚沼神社阿弥陀堂が国の補助で復旧した。市指定文化財については所有者と協議、検討する。

質問 今後の文化財指定等は。

教育長答弁 今のところない。

質問 西脇順三郎記念室の今後について

教育長答弁 図書館と一体になっており、図書館が移転すれば病院跡地活用の中での議論となる。



市職員採用について

質問 採用状況は。

答弁 募集案内については市報等に掲載し市内外にとらわれぬ募集を行っている。また、来年度採用について社会福祉士の応募はあったが土木技術職員がなかった。これは全国的な課題である。

質問 採用試験について

答弁 通常の教養試験等の他、民間人による面接試験を実施している。

当市の観光行政について

駒井 和彦 議員

質問 当市の観光の現状把握と、5年後、10年後の観光行政のビジョンについて。

答弁 集客力においては一定の成果はあるが、祭り・イベントを担う後継者育成と、外国人観光客への対応が必要。ビジョンについては、第五次小千谷市総合計画に記載のとおり。2020年東京五輪を活用した地域活性化推進首長会議に加入、連携し事業展開を検討する。

質問 おぢゃるを拠点とした景観整備等、具体的プラン、スケジュールについて。

答弁 来年度は中道ポケットパークの花壇整備、おぢゃる芝生広場の整備を計画した。

質問 観光協会自立への議論、検討の現状と、独立した団体になるべきとの考え方について。

答弁 自立の議論、検討は協会側からスタートすべきである。

質問 農家民泊への取り組みについて

答弁 外国語への対応、受け入れ家庭の対応等、様々な課題を

踏まえ検討する。

質問 おぢゃ風船一揆実行委員会での今後の会場決定のポイントと経緯、おぢゃ桜まつりの今後の会場は、今後の船岡公園まつりを見据えた中でどうするのか。

答弁 風船一揆の来年度以降の会場は、病院側と協議中。桜まつりは開催場所等関係者と検討する。

質問 観光・まちづくり教育への取り組みについて。

教育長答弁 現在各学校で取り組みを進めている。指摘のとおり、子ども達が街をデザインする、街の観光資源を情報発信することとは、今後必要な視点と考える。



山本山高原牧場

観光振興事業について

大矢 弘光 議員

質問 商工振興係と観光係が一つの課である狙い、メリットは何か。

答弁 日本標準産業分類におい

て「観光」という産業分類はないが、幅広い業種態と結びつきがあり、観光は商工振興と大きく関わりを持ちながら事業展開するものと考えられる。したがって両係は密接に連携をしながら事業推進し、相乗効果を得る。

質問 商工観光課と小千谷観光協会との連携について。

答弁 観光事業を推進するためには、市と観光協会との連携が不可欠であると考えられる。相互に利点を生かしつつ補完し合うことで、相乗効果が図れる。

質問 観光情報発信事業の中における市の魚、錦鯉の位置づけと今後の展開について。

答弁 クールジャパンブランドとして国内はもとより訪日観光客を誘客できる観光資源であると認識している。当市は「錦鯉の発祥の地」「輸出において国内屈指の生産地」であることを起爆剤とし、当市の紹介、地場産業の活性化につながるよう努める。

質問 イメージキャラクターとして太くん導入から6年、その効果と課題は。

答弁 多くの事業所・団体から活用していただき、市民からご愛顧いただいている。今後はキャラクターグッズの開発など

で更なる知名度向上に取り組む。

質問 小千谷市の観光戦略の方向性について

答弁 通年の観光拠点を活用した観光ルートの整備を行い、物語性やサービスの質の確立を目指し、広域連携事業に積極的に取り組み観光誘客を図る。

子どものインフルエンザ予防接種助成等について

久保田陽一 議員

質問 インフルエンザ予防接種の効果と必要性は。

答弁 インフルエンザワクチンは感染を完全に阻止する効果はないが、発症を抑える効果や、重症化を予防することについては一定の効果がある。

質問 なぜ子どものインフルエンザ予防接種の助成を行わないのか。

答弁 インフルエンザ予防接種による完全阻止ができないうえ、平成6年に定期予防接種から任意予防接種となり、集団的な接種が義務付けられていない。しかし、高齢者への助成については国が定期接種の対象としており、助成に対しては交付税措置がされる。子どもに対する助成

については県内自治体でもかなり行われていることから、国の動向や他市の制度の考え方などを参考に検討していきたい。

質問 未認可の液体ミルクの見解は。

答弁 日本ではこれまで製造販売されておらず、国内での販売解禁に向けて政府が検討を始めたと聞いている。母乳育児が推奨される中、人工乳として粉ミルクが普及しており、新たな選択肢として関心が高まっている。

質問 液体ミルクプロジェクトに積極的に関わり、地方から中央に声を上げるべきでは。

答弁 一自治体として活動に関わる考えはない。

質問 防災用備蓄品として備蓄の考えとミルクメーカーとの防災協定の締結が必要では。

答弁 まだ認可・普及していないので、認可・普及してきた段階で、メーカーとの防災協定も含めて検討すべきものと考え



液体ミルク

山本山高原整備と財源について

山賀 一雄 議員

質問 山頂展望台は、360度の眺望が素晴らしく、信濃川沿いの中でも一番のポイントであるが、老朽化が目立ち、便益性に欠けるとの指摘もある。改築する必要があると考えるが、見解を伺う。

答弁 本年度も塗装工事を施工しており、山本山整備全体の中で検討したい。

質問 山頂への散策路は、市道と重複するコースで、通行車両との事故も懸念される。安全確保の面からも旧道を取り入れるなどのコースを整備する必要があると考えるが、見解を伺う。

答弁 当面は、カーブミラー等安全設備の点検など、道路の安全確保に努める。

質問 沢山ポケットパークは、花の咲く時期には路上駐車も多く、交通障害の一因ともなっている。駐車場の拡充整備が必要と考えるが、見解を伺う。

答弁 周辺の景観や地形、利用状況など検討が必要で、当面は臨時駐車スペースを確保するなど対応したい。

質問 山頂から池ヶ原方面への道路について、台地部分を拡幅等整備する必要があると考えるが、見解を伺う。

答弁 当面は、維持補修の範囲で安全確保に努める。

質問 施設等整備に係る財源について、信濃川との共生まちづくりからも、環境うるおい基金の充当は可能と考えるが、見解を伺う。

答弁 提案の施設整備については、今後の整備を計画する上で、基金の活用も含めながら検討していくべきものと考えている。

小千谷市の自殺対策について

住安 康一 議員

質問 福島から避難されている児童・生徒のいじめの実態について。

教育長答弁 自主避難している児童生徒は6名。いじめられたという事案はなく、友人関係は良好であり学校生活に馴染んでいる。

質問 当市の児童・生徒のいじめ問題と自殺対策の取り組みについて。

教育長答弁 いじめ認知件数は、平成27年度で12件、平成28年11月末現在で23件。毎月学校から

報告してもらっている。市教育委員会でも、いじめ対策専門委員会を立ち上げ、また、各学校と家庭が連携を密にするように指導。子どもたち一人一人が「いのちの大切さ」を一層実感できるように、道徳の授業などで取り組む。

質問 働き盛りに対する自殺防止対策のポイントは何か。

答弁 悩みやストレスをためずに周囲に相談できるという意識を高めること及びアルコールと上手につきあうことができることが重点目標。

質問 うつ病から自殺に至る人を減らす効果のある、久留米方式といわれる「かかりつけ医・精神科医うつ病連携システム」に対しての評価と導入について。

答弁 身近な受診先であるかかりつけ医の役割は重要。市内医師会では、既に連携等が図られているが、システムの必要性に關しては今後検討する。



質問 ゲートキーパーの自覚を持ってもらうために、研修会参加者には修了書やカード授与等が必要ではないか。

答弁 研修参加者への修了書等の授与は今後取り入れる。

米山県政について・自助、共助、公助について

内山 博志 議員

質問 野党系で初めて誕生した米山知事は、柏崎刈羽原発問題で泉田県政を引き継ぎ、一歩踏み込んだ検証の必要性を示し、今のままでは柏崎刈羽原発は再稼働できないと言明している。

また、医療、介護、福祉、日本一の新潟県を目指すこと、県独自の給付制奨学金制度の創設など県民要求実現を訴えて誕生した。自治体首長との対話を重視し、良い関係を構築したいと述べている。どう対応するか。

答弁 県民の幸せのため尽力されることを願っている。市町村との風通しの良い関係構築に期待する。

質問 自己責任や自助、共助が異常に強調されている。市の財政は、5年間も4億円以上の赤字を出し、27年度は8億7千万円の赤字だ。積立金も潤沢だ。それなのに今年から「高齢者世帯等除雪援助事業」は子供が課税されていれば支援が受けられないということだ。山地では、該当者が5分の1に激減した。

担当課や市長に、私も非該当者と一緒に基準の見直し、是正を求めてきた。当初の目的はどうあれ所得の少ない高齢者に、自助、共助を強要し、地方自治法という、「福祉の増進を基本として・行政を行う」とは正反対だ。市は、高齢者の悲鳴を正面から受け止めて条件の見直し、是正をするということなので対応については評価する。今回の対応は市民と行政の信頼をしっかりとすることに考えると、申請しなかった人への対応は適切でなかった。特別な事情の確認を行う。申請しなかった人へは民生委員を通じて行う。

議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。(録画映像は本会議終了後5日、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く1年間ご覧いただけます。)

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。
[URL http://www.city.ojiya.niigata.jp/](http://www.city.ojiya.niigata.jp/)

行政視察 報告

総務文教委員会

平成28年7月12日～14日

「読書のまち恵庭市」の推進 について

北海道恵庭市

小千谷病院跡地に図書館を核とする複合施設設置の提言がなされた状況を鑑み、図書館行政のあり方も含め、読書のまちとして、全国的に先進的な取り組みをしている恵庭市の実態を学ぶため、視察を行った。「恵庭市子ども読書プラン」「恵庭市人とまちを育む読書条例」制定、市内小中学校全校に学校司書配置、市立図書館と学校図書館のオンライン化、子ども読書活動を支える寄附制度開始等、制度面での活性化を図るだけでなく、お店やカフェ、オフィス等のちょっとしたスペースに本を展示する「まちじゅう図書館」や実行委員会（市民）が主催する「図書館開館24時～真夏のミステリーナイト」「図書館まつり」「本de友活」の開催や「ぬ

いぐるみ図書館おとまり会」等の様々な催し、男声読み聞かせ隊や調べ学習応援隊の活動など、ボランティアも含めた様々な図書館活動の活発さを目の当たりにした。約16年もの長期の取り組みの中で現状があるとのこと。



石狩市民図書館・こども未来館あいぽーとについて

北海道石狩市

多目的・交流型施設の実態や課題を学ぶため、視察を行った。石狩市民図書館は「図書館の中心にまちを作る」をコンセプトに、本の貸し出しだけでなく、地域の交流拠点を目指した運営を行い、飲み物は全館可能、喫茶コー

ナーの設置、地場製品の販売があり、グループ活動室、おはなしの部屋、視聴覚ブース、目の不自由な方への朗読サービス、一般貸し出ししている視聴覚ホールや研修室など、様々なスペースを備え、WiFi-Fiも完備。各種ボランティア活動やイベントも豊富。子ども未来館あいぽーとは、大型児童センター（児童館）として、0～18歳まで対象児童センター運営事業、放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業を運営。多くの異年齢児童に居場所・活動場所・生活の場として利用されており、小学3年生から高校生で構成する『こども会議』の月1回の定例会議で、行事の企画や日常のルール検討等を行っている。

地域住民主体・子ども主体の実践を伺い、子ども若者支援、交流にぎわいの創出に施設の果たす役割の大きさを感じられた。

滝川市公共施設マネジメント について

北海道滝川市

平成26年「滝川市公共施設マネジメント計画策定市民会議」で計画を策定。今後10年程度を集中取り組み期間として公共施設

設の複合化、集約化を進め、必要な機能を維持しつつ可能な限り公共施設を削減する。維持管理、運営にはPPP（官民連携）をすすめることを基本とした。広域的な利用が可能な施設は、広域による運営を検討している。高度経済成長長期に建てられたハコモノが将来の人口目標と現実とあまりにもかけ離れたものになっている。大きな負担になっている現状。

将来の見通しを希望や夢ではなく、現実をしっかりと見据えた計画づくりが重要と感じた。困難打開を行政と市民が現状を共有し、知恵を出し合い公共施設の在り方、機能も財政も地域住民のかかわり方をしっかりと理解して納得できるよう十分論議していくことが必要だ。

「西小千谷地区市街地まちづくり」も、この観点で進めることが大切である。

民生産業委員会

平成28年10月18日～20日

子育て応援パスポート事業 について

兵庫県洲本市

子育て家庭を支援することを

目的とし、平成27年4月1日よりスタートした「子育て応援パスポート事業」とは、子育て応援パスポートカードの交付を受けた妊娠中の方や18歳までの子どもが協賛店等でパスポートカードを提示すると、各店が独自に設定している様々なサービスを受けることができる。協賛店のサービス内容は「便利な設備で応援」「心配りで応援」「お得で応援」としており、授乳・調乳スペースの提供や、粉ミルク用のお湯の提供等も含む。平成28年9月30日現在の協賛店舗数は、36店舗。洲本市では、単独事業として実施している。それは、まちぐるみでの子育て支援や子育て中のお母さんの外出を支援するという強い思いが込められた事業ではないかと感じた。それが、商店街での子育て支援や、「子育て応援タクシー」利用料金助成事業」にも表れる。

「一人でも多くの方に小千谷市で子育てをしてよかったと思ってもらいたい」との思いを大事にしなければと感じた。

一人でも多くの方に小千谷市で子育てをしてよかったと思ってもらいたい」との思いを大事にしなければと感じた。

耕作放棄地で薬草栽培について

徳島県美馬市

美馬市では平成24年以降、農



業従事者の高齢化や葉タバコの生産調整による遊休農地の利活用が課題となっていた。そこで、美馬市は行政主導による葉草栽培（ミヤマサイコ）に乗り出し、一気に生産組合の設立へと動き出した。また、経営が悪化していた美村が丘（美馬市総合交流促進施設）の敷地を活用した葉草園を開園した。葉草栽培は、高齢者が作業するに適するなど、生きがい対策ともなっており、また、美村が丘の指定管理者を地域住民組織が担い、地域活性化にも貢献している。

三好市手話言語条例について

徳島県三好市

平成28年6月にろうあ者協会と小千谷市議会議員との意見交換会を行い、多くの意見をいただく結果となった。小千谷市は手話言語条例の制定には至っていない現状のもと、平成28年3月に手話言語条例を制定した徳島県三好市の背景や課題の調査を行った。

特徴的だったのは、平成28年6月に全国ろうあ者大会が徳島県で開催されるにあたって、時間的制約がある中で市主導（特に市長主導）のトップダウンで条例制定に至ったことである。素案作成から議決まで時間がなかったため、（3月議会への提案が必要であったため）パブリックコメントが実施できず、その代わりに施行後3年での検討見直し条項を配することで、短期間での条例制定に至っている点は特筆である。

手話言語条例の制定を長く待ちわびている方々がいることも事実である。関係団体や市当局とも連携を取りつつ、議会主導での条例制定の必要性を感じる視察となった。

議会運営委員会

平成28年11月1日～2日

市民アンケート調査や議会基本条例制定などの議会運営について

福島県喜多方市

平成22年から議会基本条例制定を視野に入れ、市民アンケート調査や懇談会を実施するなど、議会改革に取り組み、素案についてパブリックコメントを募集し、修正を加えて平成25年条例施行となった。この間、議員間協議を数十回行ったが、特に、年配議員からは、会議規則等では大半はカバーできるとして条例制定には反対の声が強かった。

一方、若手議員からは、市民に開かれた議会にするには条例制定は不可欠であるとの声が大半を占めた。市民アンケートの結果も、市議会が何をやっているのか分からないとの意見が多く、条例制定により、議会の透明性、市民に開かれた議会への道が果たされたものと認識しており、市議会本会議など全ての会議をオンデマンドでも公開するなど、市民が議会に関心を持つよう活動している。市民からもそれ

なりに理解と称賛の声をいただいているので、条例制定によるデメリットは感じていない。



議会基本条例制定や中学校出前市議会などの議会運営について

山形県米沢市

議会の公平性・透明性の確保や市民の負託に応えられる議会として議会の基本理念、議会及び議員の活動原則や議会の役割・運営を明確にし、市民から理解してもらう必要がある。それゆえ、議会改革・議会基本条例が必要と認識して平成24年12月議会で全会一致により基本条例を可決した。併せて、広報広聴委員会を設置し、機能の充実を図るとともに市民との意見交

会議録の閲覧

市議会本会議の会議録（平成15年第1回定例会以降）は市ホームページからご覧いただけます。パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。（平成28年第4回定例会の会議録掲載は、2月末頃となります。）一般質問等の詳細はこちらをご覧ください。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

換の場を多様に設け、議会及び議員の政策立案能力の強化と政策提案、政策提言を積極的に行うこととした。また、議会のPRのための出前市議会を開催、この中の中学校出前市議会は、全国で初めての試みで、選挙権の年齢引き下げに伴って、一番身近な市政の運営について理解と関心を持たれるよう、架空の議案審議など内容に工夫を凝らしている。

喜多方市、米沢市での行政視察を終え、議会改革の取り組みについて共通して言えることは、市民アンケート調査や懇談会など市民の声を把握するとともに、十分な議員間協議を重ね、全議員が理解をしなければならぬと改めて認識したところである。

議会目誌

10月～12月

〈10月〉

4日 山梨県山梨市議会行政視察
に来市

5日 議会報編集委員会

6日 千葉県山武市議会行政視察
に来市

11日 小千谷市議会改革検討委員会
議会報編集委員会

12日 市議会議員と商工会議所女
性会との懇談会

16日 ふれあいの里10周年記念式典
民生産業委員会行政視察に
出発（兵庫県洲本市、徳島
県美馬市・三好市）

18日 民生産業委員会行政視察に
出発（兵庫県洲本市、徳島
県美馬市・三好市）

25日 民生産業委員協議会
青森県黒石市議会行政視察
に来市

28日 中越地区市議会議長会（柏
崎市）

〈11月〉

1日 議会運営委員会行政視察に
出発（福島県喜多方市、山
形県米沢市）

7日 小千谷市議会改革検討委員会
長崎県五島市議会行政視察
に来市

8日 議員協議会

10日 政友会、新政の風行政視察
に出発（栃木県矢板市）

14日 一般国道117号千谷バイ
パス開通式

16日 宮城県石巻市議会行政視察
に来市

24日 議会運営委員会

28日 茶郷川河川改修促進検討委
員会

〈12月〉

1日 第4回定例会（本会議）

〃 議会報編集委員会

2日 常任委員会連合審査会

5日 総務文教委員会

〃 総務文教委員協議会

6日 民生産業委員会

9日 小千谷市議会改革検討委員会
茶郷川河川改修促進検討委
員会

〃 議員協議会

15日 議会運営委員会

〃 本会議（第2日）

16日 本会議（第3日）

〃 議員全員協議会

〃 議会報編集委員会

〃 議会運営委員会

21日 議会運営委員会

〃 本会議（第4日）

〃 議員協議会

市議会を傍聴してみませんか

第1回例会
開催予定

3月2日(木) 第1日 議案上程説明
3月6日(月)～13日(月) 各常任委員会で審査
3月22日(水) 第2日 一般質問
3月23日(木) 予備日 一般質問(質問者が多い場合に開催)
3月27日(月) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(☎83-3505)へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

昨年の暮れは雪がなかなか降らない(いい塩梅なのだが)おかげで、落ち葉が隠れず掃き集める日々であった。ちよつとした強い風が吹けばまるで数時間前にタイムスリップしたかのようになり、そこに下校中の小学生達が帰って来る。みんなそれぞれ向かうのだが、ある子供はランドセルを置いてすぐに、またある子供は宿題を終えてから、境内に集まってくるのである。何を目的に集まるのか。それはズバリ『焼き芋』である。この飽食の時代、大型スーパーに行けば何でも買うことができ、のに、わざわざ寒空の下で焼き上がるのを待つ。なかなか子子供達ではないか。



植 東脩さん
(小栗田)



火力が落ちてくるとみんなで杉葉を集めてくる。もちろん私は一言も指示はしない。みんな慣れない手つきで竹ぼうきを使っている。いや、竹ぼうきに操られていると言った方が正しいような。しかしそんな光景すらも微笑ましい。

この時代、どれだけの小学生が焼き芋を知っているのだろうか。そんなことを考えていると「ねえ、芋まだ？」の声が。一緒に汗をかいて出来上がったその味は格別だったに違いない。

結果は同じでも過程を工夫することで時として大きな感動や喜びを生むことにもなり得る。ここでの経験がどこかで役立つことを願っている。



※落ち葉焚き等軽微なものも禁止されていますが、近隣に配慮して火の取り扱いは十分注意してください。(市民生活課)

編集後記

新しい一年が始まりました。二年参り、初詣に神社を訪れた人も多かったと思います。新潟県は日本で一番神社が多い県です。当市も百近くの神社を有しております。中でも桜町にある伊米神社、土川にある魚沼神社は小千谷の発展を支えてきた古社であると考えます。両神社とも祀られている神様は同じ天香語山命です。命は神武天皇に越国平定を命じられて熊野からまず小千谷にやってきました。今から約2千年前、越後の国で一番人が多く、有名だった場所がこの地であったことが想像できます。

また小千谷は太古より交通の要所でした。多くの人がこの地を要とし、関東・関西・東北へと旅立って行きました。上杉謙信も関東に出陣する際、魚沼神社で戦勝祈願をしてから信濃川を渡って行ったのは有名な話です。今よりはるかに不便であった時代に全国に名を響かせる何かがこの街にあったのです。地域活性化のヒントは歴史に埋もれているのかもしれない。

本年が皆様にとって幸多き年になりますように。

編集委員 森本恵理子